

PGT-A・SR 2023 年分妊娠転帰までの年次報告について

PGT-A、PGT-SR 認定実施施設 各位

平素より本会の運営に多大なるご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

PGT-A に関する細則、PGT-SR に関する細則の【7】実施報告義務に基づき、毎年1月1日から12月31日までの症例についてご報告をお願いしております。そして、今回報告対象となるのは、昨年に胚移植後の妊娠成立の可否までをご報告いただいた2023年1月1日から12月31日の間に PGT-A もしくは PGT-SR の検査を実施した症例（2024 年の検査症例ではありません）となります。つまり、昨年一度、検査実施についてご報告をいただいた症例の妊娠転帰までを含めたデータということとなります。一方で、2024 年に検査した症例については次回、2026 年 3 月 31 日の締め切りのタイミングでのご報告をお願いする予定となります。

昨年は、症例実施報告は、記入済みの報告書様式 A/SR をサイトにアップロードしていただく形でご提出いただいておりますが、今回の報告からは、オンライン申請システムへの直接入力に変更いたします。

報告書様式 A、報告書様式 SR のファイルでのご提出ではなくなりますので、あらかじめ、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

今回の 2023 年分の報告の受付期間は 2025 年 2 月 1 日から 3 月 31 日までを予定しております。

オンライン申請システムの回答フォームと入力方法に関しましては、2024 年報告の受け付け開始前にあらためてご案内申し上げます。

ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2025 年 1 月 15 日

不妊症および不育症を対象とした着床前遺伝学的検査に関する審査小委員会